



2014年10月 10日 (金) ～

10月23日 (木) の活動

○ 北陸地方経済懇談会

10月20日 (月)

金沢市

(一社)日本経済団体連合会との第41回北陸地方経済懇談会を、ANAクラウンプラザホテル金沢(金沢市)で開催した。『北陸発のイノベーションと、日本再興の実現』を基本テーマに、経団連から榊原会長以下約50名、当会から永原会長以下約140名が出席した。

懇談会の冒頭、永原会長は挨拶で「新幹線開業は北陸地域の成長戦略の基盤。金沢までの確実な開業、敦賀までの大幅な工期短縮、大阪までのフル規格による早期全線整備に取り組んでいくので経団連のご支援をお願いしたい」と述べた。エネルギー政策については「不安定な電力供給とエネルギーコストの上昇の影響は深刻であり、安全が確認された原子力発電所の再稼働は必要」等と主張した。そのほか、今年度から新たに取り組んでいる女性部会や大学との連携強化も紹介した。

経団連、榊原会長は「我々は、経済の持続的な成長を実現し、日本の再興を果たすため、重要政策課題に全力を挙げて取り組むべき局面にあると認識している。日本再興に向けて、地域経済を活性化させるためにも、成長の牽引役を担う企業がイノベーションを生み出し、グローバル競争の中で果敢に事業を行うための環境整備が重要である。新幹線の開業は、北陸地域が持つ可能性を花開かせる絶好のチャンスであり、北陸地域が、全国の地域活性化のモデルとしての役割を担っていただくよう尽力されることを期待している。」などと述べた。

経団連の活動報告の後、「広域交通ネットワークの整備促進」「今後のエネルギー政策の推進」「広域観光の推進」「地域産業の競争力強化に向けた取り組み」「人と企業の流れを地方へ向ける取り組み」「女性が働き続けられる社会の実現」などについて、意見交換を行った。

また、経団連の皆様は、懇談会に先立って、JR西日本白山総合車両所(白山市)を訪問し、北陸新幹線新型車両(W7系)や、車両所設備の視察を行った。(担当:小林)

○ 西日本経済協議会要望活動

10月16日(木)

東京都

西日本経済協議会(北陸、中部、関西、中国、四国、九州の6経済連合会で構成)は、第56回総会での決議を受け、10月16日(木)に、政府および与党への要望活動を実施した。

北経連からは永原会長、水野専務理事が参加し、菅内閣官房長官、太田国土交通大臣、山際経済産業副大臣、自民党の谷垣幹事長、二階総務会長、稲田政調会長らに面会。次の5項目を要望した。

1. 産業の基盤となる安定的なエネルギー供給体制の構築
2. 地域の活性化と国土強靱化に欠かせないインフラの整備
3. グローバル経済を生き抜く地域産業の競争力強化
4. 人口減少・少子化に立ち向かう政策の一段の推進
5. 地域の自立・活性化に真につながる地方分権改革の推進

永原会長は、東海道新幹線の代替補完機能を有する北陸新幹線の「今年度末の確実な金沢開業」「金沢から敦賀までの大幅な工期短縮による早期完成・開業」「大阪までのフル規格による早期全線整備」や、広域観光の推進、北陸の産業競争力強化等を強く要望した。

(担当:宗田)

○ 全国宣伝販売会議

10月15日(水)

富山市

北陸経済連合会と北陸3県やJR西日本などで組織する、北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会は、富山県国際会議場、及びANAクラウンプラザホテル富山において、「全国宣伝販売促進会議」を開催した。

北陸デスティネーションキャンペーン(平成27年10月～12月)へ向けた準備会議として開催されたもので、全国の主要旅行会社、JRグループ等の旅行商品企画担当者等、約860名が参加し、当会からは永原会長ほか出席した。

北陸の観光素材と魅力を発信し、北陸デスティネーションキャンペーン期間中の旅行商品の企画・販売強化を図ることを目的としており、全体会議では、3県の観光関係者が「五つの美(美観・美食・美技・美湯・美心)」のテーマに沿ってプレゼンテーションを行い、その後商談会、レセプションが開催された。

また16、17日にはエクスカージョン(現地視察)が実施され、参加者が10コースに分かれて北陸の観光資源を実際に体験した。(担当:小林)

○北経連トピックスNo.101 (H23. 6. 2 発行分)

より当連合会 HP に掲載しております。

バックナンバーのお問い合わせは青嶋まで。

(Tel.076-232-0472)

○ 昇龍道マレーシアミッション

10月11日(土)～15日(水) マレーシア

昇龍道プロジェクト推進協議会(会長:三田敏雄中経連会長、副会長:永原 功北経連会長)は、本年3月のマレーシア～セントレア間の就航を受けたプロモーション強化の一環として、マレーシアにミッション団を派遣した。昇龍道プロジェクトとして海外へのミッション団派遣はプロジェクト発足以来4か国・地域目。参加総数70名、うち北陸3県の自治体、企業、団体から6名が参加し、当会からは小林常務が参加した。団員は「昇龍道」のPRやエアアジアXのデイリー運航化への支援を要望した。

マレーシア側からは、ホテル、バスの確保、ムスリム対応等の受入体制・環境の整備について要望があった。

双方の連携を強化し、一層の旅行客増加に努力することを話し合った。(担当:吉井)

○ 湘南・北陸連携カンファレンス

10月17日(金)

藤沢市

本年度で3回目となる湘南・北陸連携カンファレンスは、10月17日に第二弾として、藤沢市、藤沢市観光協会と神奈川県観光協会を訪問した。

藤沢市では、鈴木恒夫市長に昨年度事業を報告するとともに、本年度の連携事業、とりわけ北陸の伝統工芸のPRなどを説明した。市長からは「是非藤沢市での事業を」との意見をいただき、本年度は小田急藤沢店での北陸フェアを計画している旨説明し、ご了解を得た。

また、藤沢市観光協会では、二見会長、福島専務ほかへ本年度事業等を説明した。協会からは、報道対応でご当地ミス「湘南海の女王」の力を借りるなどPRや報道発表の仕方についてご示唆をいただいた。

更に、本年度からカンファレンスメンバーに加わる神奈川県観光協会では、宮崎専務他に同様の説明をし、物産交流の具体的方策を確認した。(担当:吉井)

○ 韓国との共創セミナーin金沢

10月21日(火)

金沢市

北陸経済連合会、北陸AJEC、KOTRA(大韓貿易投資振興公社 日本のJETROに相当)、韓国京畿道地方政府と共催で韓国企業と北陸企業の連携強化を目的に「韓国との共創セミナーin金沢」を金沢都ホテルで開催した。

韓国の代表的グローバル企業である「サムソン」「LGディスプレイ」より北陸企業との連携の可能性について発表いただくと同時に個別面談(18件)を実施し、KOTRAとは今後も同様のセミナー開催を検討していくことで合意した。(担当 杉山)

○ 北陸技術交流テクノフェア

10月16日(木)、17日(金)

福井市

福井県産業会館にて開催。北経連ブースでは、産学連携による6次産業化、地域資源の活用をテーマに大学と連携して商品化された成功事例等を展示・紹介した。出展者は次のとおり。[富山県立大学、金沢大学、石川県立大学、福井県立大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学](担当:平田)

○ ふるさと環境フェア2014

10月11日(土)、12日(日)

小浜市

北陸環境共生会議は、小浜市若狭総合公園で開催された「ふるさと環境フェア2014」に出展し、「手作り電気で遊んで学ぼう!省エネ実験」と題して児童向けに体験教室を開催した。

4年ぶりに嶺南地域開催となった環境フェアで台風も心配されたが、2日間で約5000人の入場者があり、各展示スペースは子供たちで賑わった。(担当:吉井)

今後の主な活動予定

□ 12月10日(水)

会員懇談会(富山会場)

<場所:富山第一ホテル>

□ 平成27年1月27日(火)

新春懇談会

<場所:金沢ニューグランドホテル>

詳細は後日郵送にてご案内いたします。

□ 平成27年2月19日(木)

会員懇談会(福井会場)

<場所:ホテルフジタ福井>

詳細は後日郵送にてご案内いたします。

北陸物語 Facebookのご案内

北陸経済連合会と北陸イメージアップ推進会議は「北陸物語 Facebook」を通じて北陸の魅力の情報発信を行っております。是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>

北陸物語

検索

※ 当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(Tel076-232-0472)